

松尾敏男展



写生する松尾敏男

「生きること」を絵画に表現したことは、その後の松尾にとって大事な初期作品となりました。

また、松尾は『花の中に命を感じますね』と言われるような絵ができなければいけない」と語り、写生を重視して、牡丹を描きました。《耀春》(1980)から登場し、素描も含め、実質上の絶筆となった《玄皎想》(2015)まで、松尾の代名詞ともいわれる牡丹をご覧ください。

本展は、2018年1月に松尾の出身地、長崎県美術館を皮切りにこれまで全国7か所を巡回、当館が最後の会場となりました。松尾が生前、自らリストアップしていた作品を中心に構成された没後初の大回顧展です。



《洪水》1972年 佐久市立近代美術館蔵



《雨余》1980年



《五浦潮音》1989-91年 茨城県近代美術館蔵（展示は5月28日まで）



《長崎旅情》2014年 長崎県美術館蔵

松尾敏男がデザインした横綱白鵬の化粧まわし



特別展示
5/29～

同時開催



佐久近美
コレクションにみる
院展作家

平山郁夫・那波多目功一ほか
約20点を展示

《生々》那波多目功一
1982年
佐久市立近代美術館蔵



武論尊
100時間
漫画塾

第1期生卒業作品展
(観覧無料)

●武論尊塾長来館
5月4日(土) 15:00～
●会期：6月2日(日)まで

佐久市立近代美術館
油井一二記念館

SAKU Municipal
Museum
of Modern Art since1983

〒385-0011 長野県佐久市猿久保35番地5（駒場公園内） TEL：0267-67-1055 / FAX：0267-67-1068
e-mail：s-kinbi@city.saku.nagano.jp https://www.city.saku.nagano.jp/museum/

- JR北陸新幹線佐久平駅から……タクシー約10分
- JR小海線北中込駅から……徒歩約15分
- 上信越自動車道佐久ICまたは佐久平スマートIC（ETC専用）から……約15分
- 中部横断自動車道佐久中佐都ICから……約10分



《翠苑》2001年 衆議院蔵



画家、映画評論家、体操選手、どの道に進んでも成功したであろう天才、松尾敏男さん。アヴァンギャルドな発想と軽やかな仕事への取り組み方は日本画壇の老巨匠というイメージを覆した。

山田洋次(映画監督)

●スペシャルギャラリートーク

6月2日(日) 14:00～

松尾由佳(一般財団法人松尾財団理事長・松尾敏男長女)
那波多目功一(日本画家・公益財団法人日本美術院代表理事)
※参加無料(観覧券が必要です。)

●松尾由佳&麻里 スペシャルコンサート

5月18日(土) 14:00～

※鑑賞無料(観覧券が必要です。)

ピアノ：松尾由佳
(作曲家・音楽プロデューサー・松尾財団理事長・松尾敏男長女)



4歳から音楽を始める。幼少期からの夢、海外へ行くことを実現し、東南アジアを訪問後ヨーロッパで音楽制作活動をスタート。現在ドイツ・ハンブルグを拠点に音楽プロデューサーとして活動している。

フルート：松尾麻里
(フルーティスト・松尾敏男二女)



東京藝術大学別科、国立音楽大学を経てドイツのケルン国立音楽大学・ヴァルター・シュルツに留学。満場一致の最高優秀賞を受賞し卒業後、ソリスト試験に合格し同大学院を修了。帰国後も研鑽を積みソリストとして活躍している。CD「Melodioso」をリリース。

●ギャラリートーク

6月23日(日) 14:00～

森園敦(長崎県美術館学芸員)
※参加無料(観覧券が必要です。)

●初心者色紙講座

6月8日(土)～9日(日) 13:00～16:00

講師：並木功(佐久市立近代美術館長・日本画家)
参加費：500円
※2日間連続で受講できる方

●トークフリーデー(会話を楽しみながらの鑑賞を推奨する日)

4月28日(日)・5月26日(日)・6月23日(日)

●開館記念日無料開放

5月26日(日)

1983年5月26日の開館を記念して、終日全館無料開放します。

